



本校の授業改善に向けた視点					
各教科・領域における言語活動の充実	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
学習活動・学習過程 ・学習形態等の工夫 ・区学力向上支援講師や加配教員による習熟度別少人数授業 ・交換授業の実施 ・年間指導計画等の改善 ・学習スタンダードの効果的な活用 ・板書計画、ノート指導の充実 等	行事を精選し、ゆとりをもって授業時数を確保 ・漢字・計算・読書等の基礎的・基本的な学習のための朝学習の時間を確保 ・夏季休業中に、学力補充教室を実施	研究主題「自らかわり、共に学び合う子の育成」のもと、国語科と体育科を中心にし、教師の指導力や授業力を高める。 教員の能力・特性を生かした、指導力や授業力向上のための研修会を実施する。 ・特別支援教育 ・アニメーション 等	評価規準・評価計画のもと、PDCA [実践・評価・行動・修正] のサイクルによる改善を図る。 形成的評価を随時行うことにより、指導と評価の一体化をめざす。 評価補助簿等を活用し、個別指導の充実を図る。 等	「総合」をはじめ各教科の学習で地域人材を積極的に活用する。 学校評議員による評価を生かし開かれた学校づくりを推進する。 基本的な生活習慣や学習習慣を育む家庭の教育力の向上を図る。 様々な広報活動を通じて、学校の教育情報を積極的に発信する。 地域主催行事に教職員が積極的に参加することによって、相互の信頼関係を構築する。 等	関中学校との定期的な連絡会(分科会)を開催し、各校の情報の共有化を図る。 これまで実施してきた活動を生かして、一層の連携を図る。 児童生徒間だけでなく、教員間の交流を校区別協議会等で促進する。 先進校の研究に学び、企画立案する。 等

授業改善策の検証方法

各種の意識調査や学力調査の結果を入念に分析し、前年度との経年比較を行いながら、指導方法の成果と課題を明らかにし、児童の学びを豊かにしていく。各教科の基礎的・基本的な内容の習得状況については、各種の学力調査の結果と授業改善策との関連を踏まえて分析し、前年度からの変容を確認していく。校内研究の一環として、児童の学習意欲に関する意識調査を行ったり、体育科の新しいスポーツを導入したりして、学習意欲の高揚を図っていく。保護者等による「学校の教育活動に対するアンケート」をもとに外部評価の状況を分析し、そのニーズに積極的に応えていく。 等々